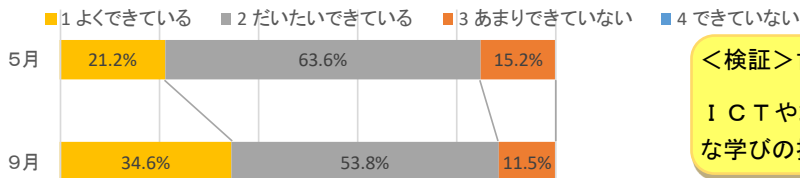


Step by Step

令和3年度名寄市教育改善プロジェクト委員会の前期が終了しました。全教職員の学校経営への参画と協働意識を高め、成果の検証・改善を行うため、関係職員を中心にアンケート調査を実施しました。5月及び9月を比較検討・考察しましたので、今後の取組や改善に役立てていただきたいと思います。

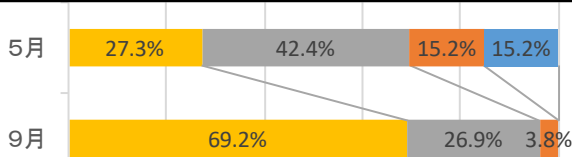
質問1 あなたの学校では、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた指導方法の工夫が図られている。



<検証> 肯定的意見84.8%→88.4%

ICTや端末の活用等、個別最適な学びと協働的な学びの指導方法の工夫が図られている。

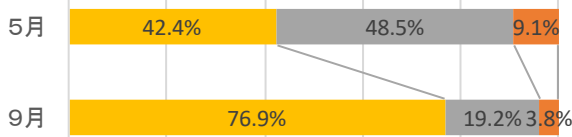
質問2 あなたの学校では、1人1台端末の日常的な活用ができています。



<検証> 肯定的意見69.7%→96.1%

ほとんどの学校で1人1台端末の日常的な活用が推進されている。

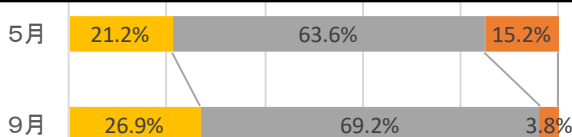
質問3 あなたの学校では、日常実践に直結する校内研修（ミニ研修、ICT活用指導力の向上を含む）が進められている。



<検証> よくできている42.4%→76.9%

各校で授業に直結する校内研修が活発に推進されてきている。

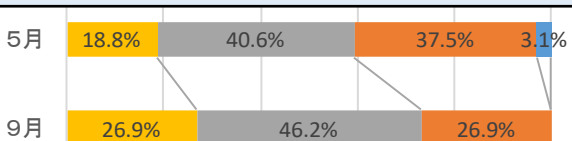
質問4 あなたの学校では、教員の人材育成が図られている。



<検証> 肯定的意見84.8%→96.1%

スクールリーダーやミドルリーダー等、各校で人材育成が図られている。

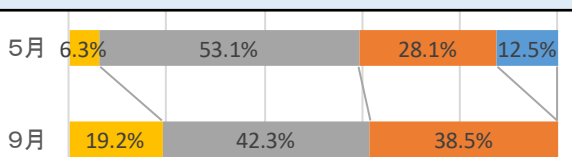
質問5 あなたの学校では、働き方改革について個々の教職員の課題意識を踏まえた目標を設定している。



<検証> 肯定的意見59.4%→73.1%

目標設定を進めてきている状況ではあるが、市内全校までの状況になっていない。

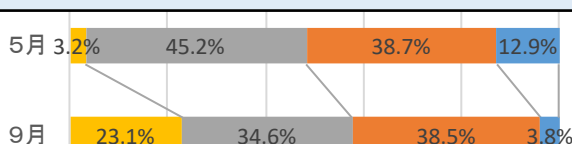
質問6 あなたの学校では、市教研・改善プロジェクト・関係機関と連携し、参考にして働き方改革について定期的に成果と課題を検証している。



<検証> 肯定的意見59.4%→61.5%

学校により意識の差がある状況である。参考事例等を活用し、検証サイクルを進める必要がある。

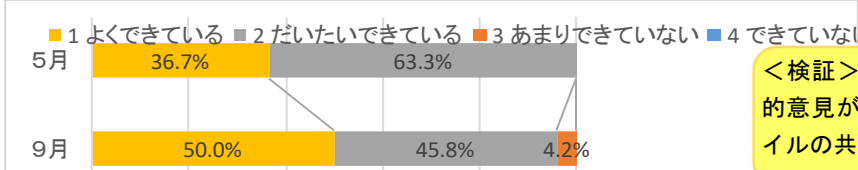
質問7 あなたの学校では、市教研・改善プロジェクト・関係機関と連携し、参考にして働き方改革コアチームを中心とした改善が進められている。



<検証> 肯定的意見48.4%→57.7%

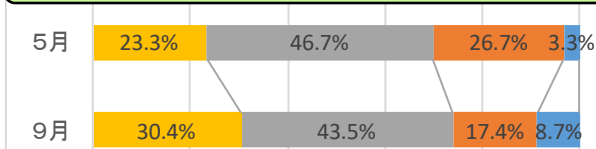
学校により差がある状況である。各校で改善を進めていく必要がある。

質問8 あなたの学校では、名寄市学習規律に基づき、授業ルールや授業スタイルの共有が進められている。



<検証>よくできている36.7%→50.0%、肯定的意見が多い。小・中学校で授業ルールやスタイルの共有が進められている。

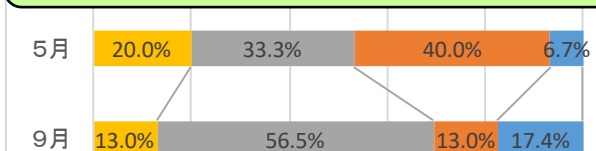
質問9 あなたの学校では、理科授業のポイントや指導方法について小中学校間の交流や連携が行われている。



<検証>肯定的意見70.0%→73.9%

小中学校間の交流や連携が図られ、今後も継続して進めていく。

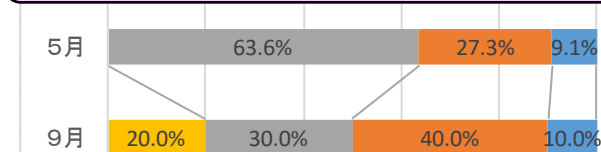
質問10 あなたの学校では、単元テストやチャレンジテストにより、小中それぞれの課題を明確にし、小中連携して課題解決に向けたカリキュラムマネジメントが行われている。



<検証>肯定的意見53.3%→69.5%

課題解決に向けた小中連携が進められ、課題が明確になってきている。

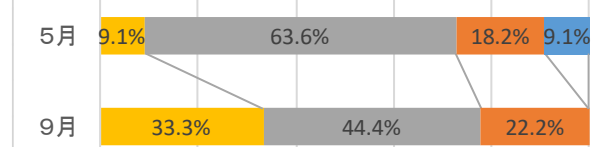
質問11 「名寄市教育改善プロジェクト委員会」や「名寄市立小中学校働き方改革推進会議」と連携した市内小中学校における働き方改革が推進されている。



<検証>よくできている0%→20.0%、一方で肯定的意見が減少

取組は推進されている。成果や課題の共有をしていく必要がある。

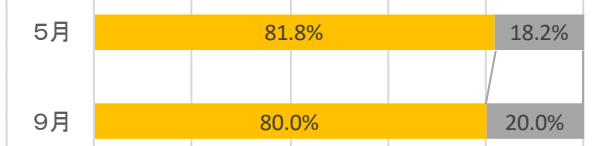
質問12 学校間における事務業務として、アンケートに関する業務が一括管理されている。



<検証>肯定的意見72.3%→77.7%

名寄中学校事務加配で市内小・中アンケート作成や調査、まとめを一括管理するよう推進していく。

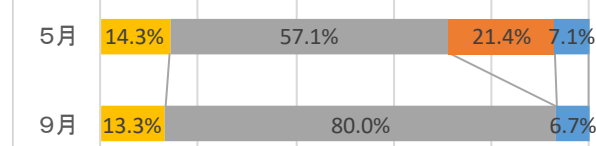
質問13 学校間における事務業務として、キャリア・ポートファイル等の管理・配付がされている。



<検証>肯定的意見が多数

今後も、名寄中学校事務加配で管理・配付について迅速に対応していく。

質問14 学校間における事務業務の連携や情報交流の窓口として機能している。



<検証>肯定的意見71.4%→93.3%

学校間における事務業務の連携や情報交流の窓口として機能してきている。今後も情報を発信していく。

関係者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。取組の成果が大きく表れてきています。一方で、課題も出てきていますので、各担当で確認して進めていただければと思います。特に「働き方改革」は、各校や教職員の中で、課題を共有化したり、職員のアイデアを活かして進めたりしていると思いますが、なかなか改革の実感が伴わないこともあります。各研究グループの取組も後半に入っていますが、今回のアンケート結果や各取組の成果、課題を明確にして今後の取組を推進していただきたいと存じます。(文責:事務局)